

『優しさ』 作：ポチ子

『優しさ』 作…ポチ子

今さら優しさを知ったって。

なんの意味も無い。

初めからそうだったら、

素直に笑ってた。

でも、そうじゃないから。

怒る声も、

馬鹿にする笑い方も、

もう私は知っている。

忘れようと思ったって、

忘れられない。

いないはずのあいつに、

ただ怯えている。

聞こえないはずの声が聞こえて、

手にびっしょり汗をかく。

震えて文字もうまく書けない。

終わったことと片付けて、

優しさを受け入れて、

なんてできるわけないだろ。